

支援の輪広がる

各地のNPOなどは被災地での支援活動に乗り出している。

兵庫県は11日、宮城県大崎市に毛布1000枚やブルーシート200枚などの救援物資をトラックで送った。12日昼頃に現地に到着し、市役所を通じて各避難

所などに配布する。

東日本大震災の際、兵庫県は関西広域連合内の分担で宮城県の支援を担当したことから、今回も物資の送り先を宮城にした。

兵庫県災害対策課の花本浩訓練・指導班長は「阪神大震災の被災経験を踏ま

え、今後も状況に応じた支援を続けていく」と話した。

神戸市のNPO法人「阪神淡路大震災1・17希望の灯り（HANDS）」などは、被災地で活動するNPOなどを支援するため、募金の受け付けを始めた。

広島県のNPO法人「ピ

ースウィンズ・ジャパ。災害救助犬2頭と救ら8人は11日、茨城県市に入り、物資の運を始めた。国際医療「AMDA（アムダ）」岡山市も12日、土砂発生した栃木県日光タッフを派遣する。